



## 平成28年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年11月12日

上場会社名 株式会社 サンマルクホールディングス  
 コード番号 3395 URL <http://www.saint-marc-hd.com/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 片山 直之  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 綱嶋 耕二  
 四半期報告書提出予定日 平成27年11月13日 配当支払開始予定日 平成27年12月10日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

上場取引所 東

TEL 086-246-0309

平成27年12月10日

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成28年3月期第2四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第2四半期	32,716	10.2	3,682	△2.6	3,852	1.6	2,279	4.0
27年3月期第2四半期	29,690	11.9	3,779	12.7	3,790	12.3	2,191	22.8

(注) 包括利益 28年3月期第2四半期 2,277百万円 (3.4%) 27年3月期第2四半期 2,202百万円 (24.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第2四半期	102.61	—
27年3月期第2四半期	98.64	—

平成27年4月1日付で、普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり四半期純利益を算定しております。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第2四半期	50,627	40,813	80.6
27年3月期	50,478	39,250	77.8

(参考) 自己資本 28年3月期第2四半期 40,813百万円 27年3月期 39,250百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	52.00	—	64.00	116.00
28年3月期	—	29.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	29.00	58.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

平成27年4月1日付で、普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。平成28年3月期(予想)の年間配当金は、当該株式分割を考慮した額を記載しております。

### 3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	66,678	9.6	7,913	3.8	8,100	5.8	4,586	11.1
								206.45

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 ー社 (社名) 、 除外 ー社 (社名)  
(注)当四半期連結累計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有  
② ①以外の会計方針の変更 : 無  
③ 会計上の見積りの変更 : 無  
④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報(注記事項)」に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示をご覧ください。

- (4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年3月期2Q	22,777,370 株	27年3月期	22,777,370 株
② 期末自己株式数	28年3月期2Q	563,408 株	27年3月期	562,518 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	28年3月期2Q	22,214,121 株	27年3月期2Q	22,215,900 株

平成27年4月1日付で、普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、株式数を算定しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10
(重要な後発事象)	11
4. 補足情報 「参考資料」	12
(1) 仕入実績	12
(2) 販売実績	12
(3) 種類別販売実績	12

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用環境は引き続き改善基調で推移し、企業収益が好調であったものの、海外景気減速の影響により輸出や生産が弱含み、景気回復に対する停滞感が強まりつつ推移いたしました。

外食業界におきましては、長引く人手不足による賃金上昇圧力や円安基調による原材料価格の高止まりトレンドに加え、消費者の節約志向を背景とした個人消費の回復の動きは依然として弱く、引き続き厳しい経営環境が続いております。

このような中、当社グループにおきましては、好立地への積極出店を継続するとともに、業態の魅力度を上げるメニューの設定や教育研修制度の充実、継続実施により、既存店舗の営業力向上を図るとともに、業態全般のブラッシュアップに注力し、中長期での安定成長のための基礎づくりに取り組んでまいりました。

新規出店の状況につきましては、当第2四半期連結累計期間中にベーカリーレストラン・サンマルク直営店2店舗、ベーカリーレストラン・バケット直営店4店舗、ブレッドガーデン直営店6店舗、BISTRO309直営店1店舗、生麺工房鎌倉パスタ直営店12店舗、石焼炒飯店直営店1店舗、オリーブチャオ直営店6店舗、神戸元町ドリア直営店2店舗、サンマルクカフェ直営店20店舗、倉式珈琲店直営店2店舗をそれぞれ出店（当第2四半期連結累計期間出店数：直営店56店舗）し、これにより当社グループ全業態の当第2四半期連結会計期間末の合計店舗数は、直営店776店舗、フランチャイズ店77店舗、合計853店舗体制となりました。

これらの結果、当社グループの当第2四半期連結累計期間の業績は、出店増に伴う開業経費の増加要因がありましたが、売上高327億16百万円（前年同期比10.2%増）、経常利益38億52百万円（同1.6%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益22億79百万円（同4.0%増）となりました。

セグメント別の業績等は次のとおりであります。

なお、第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの区分を変更しております。従来、報告セグメントをレストラン事業、ファーストフード事業の区分としておりましたが、平成27年4月1日に実施した会社分割を受け、「調整額」に含めていた神戸元町ドリア事業（現 株式会社サンマルクグリル）をレストラン事業に含めるとともに倉式珈琲店事業（現 株式会社倉式珈琲）をファーストフード事業と合わせて、名称を喫茶事業へと変更しております。これに伴い、前年同期比較の数値は、前年同四半期の数値を変更後の報告セグメントの区分に組み替えた数値で比較しております。

レストラン事業売上高は185億12百万円（前年同期比9.5%増）、営業利益は22億46百万円（同6.2%減）となりました。

喫茶事業売上高は142億4百万円（前年同期比11.1%増）、営業利益は20億45百万円（同3.3%増）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の財政状態は、総資産は506億27百万円となり、前連結会計年度末と比較して1億48百万円の増加となりました。

資産の部では、流動資産は118億83百万円となり、前連結会計年度末と比較して23億35百万円の減少となりました。これは主に現金及び預金が20億98百万円減少したこと及び売掛金が2億75百万円減少したこと等によるものであります。

固定資産は387億43百万円となり、前連結会計年度末と比較して24億84百万円の増加となりました。これは主に事業拡充のための直営店出店等に伴う建物及び構築物が16億39百万円及び敷金及び保証金が3億38百万円それぞれ増加したこと、非連結子会社への貸付及び増資等により、投資その他の資産のその他が2億82百万円増加したこと等によるものであります。

負債の部では、流動負債は69億92百万円となり、前連結会計年度末と比較して15億58百万円の減少となりました。これは主に買掛金が2億31百万円減少したこと及び未払金が5億93百万円、未払消費税等が6億72百万円それぞれ減少したこと等によるものであります。

固定負債は28億20百万円となり前連結会計年度末と比較して1億44百万円の増加となりました。これは主にリース債務が58百万円減少した一方、直営店出店に伴う資産除去債務が1億90百万円増加したこと等によるものであります。

純資産の部は前連結会計年度末と比較して15億63百万円増加し、408億13百万円となりました。この結果、自己資本比率は80.6%となりました。

キャッシュ・フローの状況につきましては、営業活動により獲得した資金は31億6百万円となり、この主なものは、税金等調整前四半期純利益36億28百万円の獲得、減価償却費16億42百万円の発生及び法人税等の支払が15億48百万円発生したこと等によるものであります。投資活動におきましては43億65百万円の資金を使用し、その主なものは有形固定資産の取得による支出37億28百万円、敷金及び保証金を含むその他投資取得による支出3億95百万円、海外における業態実験のための非連結子会社への貸付けによる支出1億90百万円を行ったこと等によるものであります。財務活動におきましては8億40百万円の資金を使用し、その主なものは配当金の支払7億11百万円の資金支出を行ったこと及びファイナンス・リース債務返済支出が1億24百万円発生したこと等によるものであります。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間末の現金及び現金同等物は、前連結会計年度末と比較して20億98百万円減少し、80億31百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

出店数の増加に伴う開業経費が増加していること及び外食業界を取り巻く厳しい経営環境を背景とした既存店売上の動向がレストラン事業において若干弱含み、当第2四半期累計期間の連結売上高、経常利益ともに当初計画を若干下回る水準で推移しております。下半期におきましては、各業態におけるメニューや店舗サービスレベルの維持向上を目的とした体制の強化を引き続き推進していく予定であります。上半期の当初計画と実績のギャップを含め、平成27年5月13日の決算短信で発表いたしました通期の連結業績予想を以下のとおり変更いたします。

平成28年3月期通期連結業績予想数値の修正（平成27年4月1日～平成28年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	66,933	8,477	8,500	4,866	219.04
今回修正予想 (B)	66,678	7,913	8,100	4,586	206.45
増減額 (B-A)	△255	△564	△400	△280	-
増減率 (%)	△0.4	△6.7	△4.7	△5.8	-
(ご参考) 前期実績 (平成27年3月期)	60,831	7,620	7,658	4,129	185.89

なお、セグメント別の業績予想につきましては、次のとおりであります

レストラン事業におきましては、売上高375億29百万円（前期比8.6%増）、営業利益47億82百万円（同0.7%減）を見込んでおります。

喫茶事業におきましては、売上高291億49百万円（前期比11.0%増）、営業利益43億64百万円（同10.9%増）を見込んでおります。

なお、全社（調整額）は、営業損失12億33百万円（前期営業損失11億30百万円）を見込んでおります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

なお、特定子会社の異動には該当していませんが、第1四半期連結累計期間において、平成27年4月1日付で当社を分割会社とする簡易新設分割により設立した100%子会社である株式会社サンマルクグリル及び株式会社倉式珈琲を連結の範囲に含めております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。)、  
「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。)  
及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間については、四半期連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

これによる損益に与える影響はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	10,130,293	8,031,491
売掛金	3,102,418	2,827,303
商品	87	194
原材料及び貯蔵品	281,790	295,954
その他	720,938	744,858
貸倒引当金	△16,289	△15,910
流動資産合計	14,219,239	11,883,891
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	18,937,026	20,576,108
土地	3,183,790	3,183,790
その他(純額)	2,102,565	2,327,433
有形固定資産合計	24,223,382	26,087,332
無形固定資産		
その他	159,701	159,264
無形固定資産合計	159,701	159,264
投資その他の資産		
敷金及び保証金	8,905,409	9,243,636
その他	2,970,705	3,253,201
貸倒引当金	△98	△98
投資その他の資産合計	11,876,017	12,496,739
固定資産合計	36,259,100	38,743,336
資産合計	50,478,340	50,627,227
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	2,107,314	1,875,767
未払金	3,406,308	2,812,568
未払法人税等	1,532,333	1,390,935
引当金	52,920	164,788
資産除去債務	3,278	21,384
その他	1,449,441	727,261
流動負債合計	8,551,595	6,992,707
固定負債		
退職給付に係る負債	130,297	142,482
資産除去債務	2,331,608	2,521,888
その他	214,448	156,336
固定負債合計	2,676,354	2,820,708
負債合計	11,227,950	9,813,415

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,731,177	1,731,177
資本剰余金	3,038,800	3,039,010
利益剰余金	35,682,792	37,251,335
自己株式	△1,250,207	△1,254,085
株主資本合計	39,202,563	40,767,437
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	47,826	46,374
その他の包括利益累計額合計	47,826	46,374
純資産合計	39,250,389	40,813,811
負債純資産合計	50,478,340	50,627,227



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
売上高	29,690,902	32,716,934
売上原価	6,494,089	7,167,213
売上総利益	23,196,813	25,549,720
販売費及び一般管理費	19,417,271	21,867,407
営業利益	3,779,541	3,682,313
営業外収益		
受取利息	5,196	4,811
受取配当金	2,175	3,710
受取賃貸料	56,188	71,870
受取補償金	—	150,048
為替差益	7,831	—
その他	8,175	19,819
営業外収益合計	79,569	250,260
営業外費用		
支払賃借料	52,825	61,225
その他	16,139	19,128
営業外費用合計	68,964	80,353
経常利益	3,790,146	3,852,219
特別損失		
固定資産除却損	146,753	202,083
減損損失	18,624	22,097
特別損失合計	165,377	224,180
税金等調整前四半期純利益	3,624,768	3,628,038
法人税、住民税及び事業税	1,446,217	1,424,709
法人税等調整額	△12,930	△76,088
法人税等合計	1,433,287	1,348,621
四半期純利益	2,191,481	2,279,417
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,191,481	2,279,417

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)
四半期純利益	2,191,481	2,279,417
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	10,571	△1,451
その他の包括利益合計	10,571	△1,451
四半期包括利益	2,202,052	2,277,965
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,202,052	2,277,965
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	3,624,768	3,628,038
減価償却費	1,450,538	1,642,745
減損損失	18,624	22,097
賞与引当金の増減額(△は減少)	103,894	111,868
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	9,677	12,185
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△1,164	△379
受取利息及び受取配当金	△7,372	△8,521
為替差損益(△は益)	△7,831	—
固定資産除却損	146,753	202,083
売上債権の増減額(△は増加)	394,212	275,114
たな卸資産の増減額(△は増加)	△18,625	△14,269
仕入債務の増減額(△は減少)	△245,946	△231,546
未払金の増減額(△は減少)	△141,768	△268,168
その他	340,522	△720,276
小計	5,666,283	4,650,970
利息及び配当金の受取額	2,311	3,809
法人税等の支払額	△1,717,211	△1,548,106
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,951,382	3,106,673
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△3,267,596	△3,728,538
有形固定資産の売却による収入	—	31,287
無形固定資産の取得による支出	△41,593	△32,902
投資有価証券の取得による支出	△93,083	△22
関係会社貸付けによる支出	△190,000	△190,000
資産除去債務の履行による支出	△34,918	△49,726
その他	△350,029	△395,345
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,977,221	△4,365,248
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
自己株式の取得による支出	△1,598	△4,141
自己株式の売却による収入	—	478
配当金の支払額	△609,293	△711,805
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△205,318	△124,760
財務活動によるキャッシュ・フロー	△816,210	△840,227
現金及び現金同等物に係る換算差額	7,831	—
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△834,216	△2,098,802
現金及び現金同等物の期首残高	10,357,003	10,130,293
現金及び現金同等物の四半期末残高	9,522,786	8,031,491

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注)1	四半期連結損益計算書 計上額 (注)2
	レストラン	喫茶			
売上高					
外部顧客への売上高	16,906,402	12,784,500	29,690,902	—	29,690,902
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	16,906,402	12,784,500	29,690,902	—	29,690,902
セグメント利益	2,396,026	1,980,341	4,376,367	△596,826	3,779,541

(注) 1. セグメント利益の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用596,826千円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「レストラン」及び「喫茶」セグメントにおいて、固定資産に係る重要な減損損失は認識していないため、記載を省略しております。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注)1	四半期連結損益計算書 計上額 (注)2
	レストラン	喫茶			
売上高					
外部顧客への売上高	18,512,128	14,204,806	32,716,934	—	32,716,934
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	18,512,128	14,204,806	32,716,934	—	32,716,934
セグメント利益	2,246,954	2,045,778	4,292,733	△610,420	3,682,313

(注) 1. セグメント利益の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用610,420千円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「レストラン」及び「喫茶」セグメントにおいて、固定資産に係る重要な減損損失は認識していないため、記載を省略しております。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

3 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、従来、報告セグメントをレストラン事業、ファーストフード事業の区分としておりましたが、平成27年4月1日に実施した会社分割を受け、「調整額」に含めていた神戸元町ドリア事業(現 株式会社サンマルクグリル)をレストラン事業に含めるとともに倉式珈琲店事業(現 株式会社倉式珈琲)をファーストフード事業と合わせて、名称を喫茶事業へと変更しております。

なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

4. 補足情報

「参考資料」

(1) 仕入実績

当第2四半期連結累計期間の仕入実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

(単位：千円)

セグメント	金額	前年同期比(%)
レストラン	4,387,099	108.6
喫茶	2,785,980	113.0
合計	7,173,079	110.3

(注) 上記金額には、消費税等は含まれておりません。

(2) 販売実績

当第2四半期連結累計期間の販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

(単位：千円)

セグメント	金額	前年同期比(%)
レストラン	18,512,128	109.5
喫茶	14,204,806	111.1
合計	32,716,934	110.2

(注) 上記金額には、消費税等は含まれておりません。

(3) 種類別販売実績

当第2四半期連結累計期間の種類別販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

(単位：千円)

種類	直営店売上		ロイヤリティ収入		F C関連等売上		合計	
	金額	前年同期比(%)	金額	前年同期比(%)	金額	前年同期比(%)	金額	前年同期比(%)
レストラン	17,579,565	110.4	202,388	86.7	730,174	97.6	18,512,128	109.5
喫茶	13,949,034	111.2	42,590	98.1	213,180	108.3	14,204,806	111.1
合計	31,528,600	110.7	244,979	88.5	943,354	99.9	32,716,934	110.2

(注) 上記金額には、消費税等は含まれておりません。